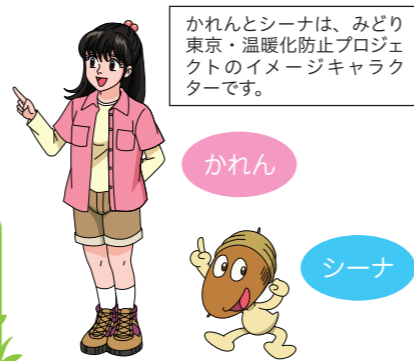




## オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト

### 市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

かれん

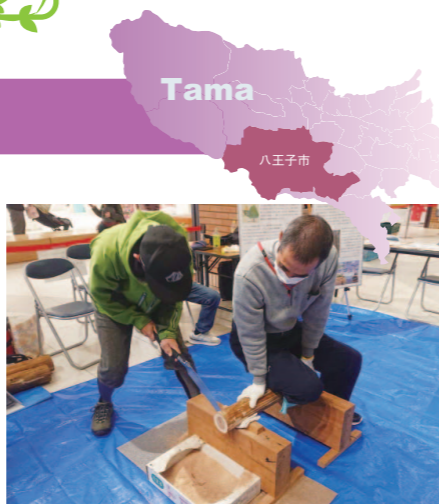
シーナ

## 1 八王子市 2021 八王子環境フェスティバル

八王子市では、市民及び事業者が環境保全に対する理解を深めるとともに、積極的に活動を行う意欲向上を図るため、「はちおうじの環境をみる・きく・考える」をテーマに、「八王子環境フェスティバル」を開催しています。

今年度は市内2か所で開催し、丸太切りを体験する場などを設けました。4日間で市民団体、企業・NPO、学校、行政など12団体が出展し、約1,600人の方に楽しみながら環境について関心を持ってもらいました。

【問合せ先】八王子市 環境政策課 TEL 042-620-7384

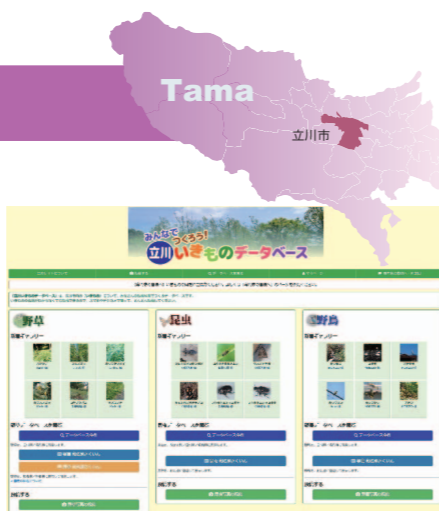


## 2 立川市 生物多様性推進事業

立川市では立川いきものデータベースを作成しています。昆虫、野鳥、野草、魚貝類、両生・爬虫類、哺乳類(野生)の写真をも市民や来街者に投稿してもらい、種類を特定してウェブ上に公開しています。これは自然にふれあう機会や生き物に興味・関心を持ってもらうきっかけ作りとなります。継続することで、観測される生き物に変化が現れるかの確認にもつながります。

2021年9月末で7,452件のデータが掲載されています。今後もデータベースが充実するように努めていきます。

【問合せ先】立川市 環境対策課 TEL 042-523-2111



## 3 瑞穂町 公共施設等の緑化活動(花植え)

瑞穂町では、毎年5月下旬から6月にかけて、町内会や小学生の皆さんに協力していただき「公共施設等の緑化活動(花植え)」を実施しています。また、都立瑞穂農芸高等学校園芸科学科の皆さんには、町の玄関口である「JR箱根ヶ崎駅」ロータリー花壇の花植えを年に2回お願いしています。毎年、設計図などを基に、町が提供した花や自分たちで育てた花を綺麗に植えています。地元高校生が頑張っている姿に、地域住民も喜んでます。

公園や緑道が花で綺麗に彩られることで、ゴミのポイ捨てなどを抑制する効果も期待しているところです。

【問合せ先】瑞穂町 建設課 TEL 042-557-7659



# 多摩交流センターだより



## 特定非営利活動法人 東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のこと!

### 2022年2月講義案内

受講料 会員無料・会員外は1回につき500円

日時	講義テーマ	教授	教場
2月3日(木) 14:00から	親子のふしぎを考える睦月(如月)の昼下がり	山崎 宏氏 (株)百寿研 代表取締役	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
2月10日(木) 14:00から	生物の“名前”について考えよう	三島 次郎氏 (桜美林大学名誉教授)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
2月17日(木) 14:00から	「生活支援とテクノロジー」または「地域包括支援を支えるICT、AI」	尾林 和子氏 (日本福祉大学教授・ 社会福祉法人東京聖新会)	田無総合福祉センター 3F (田無公民館代替施設) (西武新宿線田無駅北口 徒歩12分)
2月24日(木) 14:00から	歌舞伎役者の家柄と格付け	かみむら いわお 上村 以和於氏 (演劇評論家)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館 3F)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

【問合せ先】TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原) 東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coocan.jp>

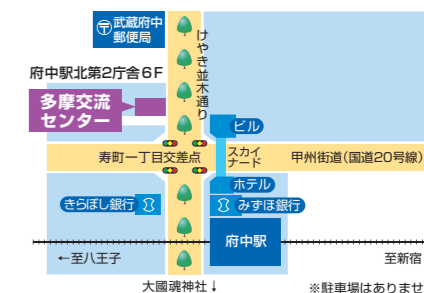
※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、2月講義を中止させていただく場合があります。詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、東京雑学大学のホームページをご覧ください。

### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

#### (公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F  
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127  
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>  
(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



## 編集後記

- 2022(令和4)年あけましておめでとうございます。令和3回目のお正月を迎えました。今年の年末年始は、コロナ感染症の鎮静化に伴い帰省や旅行にあてる人が昨年より増えていると報じられています。しかし、様々な事情や判断の結果、長らく故郷に帰れず、また旅行にも行けない人もまだまだ多いとされています。オミクロン株対策や社会経済活動の再開に向けた必須な準備として、コロナワクチン3回目の追加接種が本格化する運びとなり、年度末を控えるこの時期には、自治体を始めとして各現場の混雑が危惧されています。早くこのような事態を乗り越え、今年こそは、日本社会全体が大きく回復する一歩を踏み出す年としたいものです。
- 今年予定されている行事としては、来月2月から北京冬季オリンピックが、3月からはパラリンピック大会が始まります。7月には参議院選挙も控えています。また、沖縄本土復帰と札幌オリンピック開催から50周年、東京スカイツリー開業10周年となる年でもあります。
- 今年のエピックとして、改正民法の施行で成人年齢が18歳となり、契約を始め様々な場面で保護者の同意が不用になることが挙げられます(ただし、タバコやお酒はこれまでどおり20歳からです)。今年は4月1日に一気に18歳~20歳の人が新成人となります(果たして、来年の各地の成人式はどうなる

- ののでしょうか?)。○ この新成人の世代は高校卒業前後をほぼコロナ禍の下で過ごし、人生の大切な時期をコロナに奪われたこととなります。新成人世代に限らず、多くの若者の勉強の場や旅行、体験活動など、大切な経験を積めなかったイベントの多くが中止や制限されてきており、改めて一昨年から続くコロナの影響の大きさがうかがい知れます。
- 一方で、コロナはこれまで進まなかったテレワークやオンライン診療、学校のリモート授業などの社会実装を進展させた一面もあり、ワーケーション、オンライン結婚式など新たな成長や利便性の向上に向けての取組も行われています。今年は、国や自治体のDXも一層加速しそうな情勢となっています。
- 今年も、当調査会は東京市町村のシンクタンクとして社会の変化をいち早く察知し、道標となる調査研究や市民活動の支援などを通じて、多摩・島しょの明るい未来へ向けた地域づくりのお役に立てるよう活動を行って参ります。また、本紙「ぐるり39」も、編集者一同、皆様のお役に立つ情報をお届けできるよう内容の充実にも努めて参ります。本年もどうぞよろしくお願いたします。(M.N)

